

札幌東区社保協

加盟各団体から25名の参加

7月23日(土) 東区社保協定期総会を開催!

今年の定期総会が、加入団体から25名の参加で開催されました。総会に先立って、「旭川市の国保料2万円引き下げが実現」のテーマで石田尚利元旭川民商事務局長の記念講演がおこなわれました。「旭川は

北海道で最も保険料が高く、滞納に対する取立ても厳しく市民の不満が高まっています。これに対して、高い保険料が生活や営業を脅かしている実態をあげて市交渉を行い市議会への請願署名を幅広く広め議員とも連携をして2万円の保険料の実現をしました。」と報告されました。

参加者の発言から

新婦人、年金者組合、生活と健康を守る会等から活動の報告も含め発言があり、「6月の国保110番にはたくさんさんの相談者が来た事が紹介され、「地域にはもっともっと困っている人がたくさんいます。地域の全ての人が目が行き届くような活動や宣伝が重要。東区全域をもうらするような宣伝や相談活動を広げていこう」との発言

宮川市議から
札幌市の国保について
札幌市の国保について発言、「札幌市の国保も取立が厳しくなっています。国保会計は、一般会計からの繰り入れで平均の国保料は据え置かれています。国保加入者の平均年収は毎年下がっています。実質的には値上げになっています。」と報告。「札幌でも国保料の値下げと改善の運動の必要性」が話されました。地域社保協の運動の強化が求められます。



総会の発言から

年金者組合の高橋さんのから、「決算、予算かの報告から見るとまだまだ活動が十分とは言えない。もっと大きな構えで市民全体を巻き込んで運動を組織して行くべきだ。市の職員とももっと顔を突き合わせて住民に寄り添って仕事をさせる必要がある。議員についても、社会保障の充実の問題は全会派を巻き込んで運動をつくっていくべき課題だと思ふ。高齢者の問題も、年金天引きで保険料を払える人はまだ良いほうだ。天引きで払えない低所得者や無年金の生活困窮者の、事例をもっと知らせる運動も必要だ。事実には勝る訴えは無い。」守る会の大久保さんからは、「110当番の



◎年金支給日の宣伝署名行動
(年金支給日の月の15日)
◎年金宣伝の無い月に
110番、消費税
社会保障の充実の
宣伝行動を取り組む

運動から、市民の生活がシリジリ影響を受けている事例が増えている。生活保護スレスレの生活をしている人がたくさんいる。介護保険料を滞納していると2年間の時効の問題で介護保険が利用できなくなる。地域の隅々から相談をうけられるような運動をしていこう。」と発言があった。

